

News Letter

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)



文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)
YAMANASHI NETWORK
FOR DIVERSITY & INNOVATION

Vol. 5 2021年12月発行

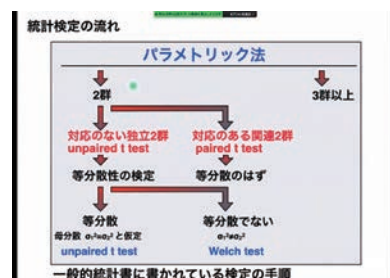
ご報告

若手研究者育成セミナー 「統計学講座 生物科学系研究者のための 生物統計」を開催しました



令和3年8月19日(木)、9月2日(木)、9月16日(木)の3日間、山梨大学および山梨県立大学の教員・学生、シミックホールディングス株式会社および株式会社はくばくの社員を対象とした若手研究者育成セミナー「統計学講座 生物科学系研究者のための生物統計」を開催しました。セミナーには、池田 郁男 氏(東北大学未来科学技術共同研究センター教授)を講師として招聘し、講師著書「改訂増補版:統計検定を理解せずに使っている人のために」に基づき、統計学の基礎、2群のパラメトリック検定、3群以上のパラメトリック検定等についてご教授いただきました。

第1講義には86名、第2講義には78名、第3講義には76名が参加しました。参加者からは、「基本的なことではあるが、参考書などではここまで詳細にわかりやすく説明がなかったため、言葉の意味を含めて今まで以上に理解することができた。」「SDとSEの算出法は知っていたが、着目している点の違いがわかり良かった。」などの感想をいただきました。



ご報告

次世代リーダー育成企画「女性社長対談」を開催しました

令和3年9月21日(火)、次世代リーダー育成企画「女性社長対談」を開催し、山梨大学及び山梨県立大学の学生・教職員、シミックホールディングス株式会社の社員ら30名が参加しました。これは、経営者と座談会形式で直接語り合いながら、女性社長自らのキャリアロールモデルを学び、女性活躍についての考えを深める講演会として開催したものです。

講演では、株式会社アンサーノックスの渡辺 郁 代表取締役が、会社を経営する上で学んだことや、性別や年齢、国籍の枠にとらわれない生き方などを自らの経験を交えて語りました。

参加者からは、「多様性を認め合うことの大切さに気づくことができた」「普通はこうあるべきという思い込みや、自分にはできないという決めつけを捨てて行動していきたい」などの感想が寄せられ、実りある講演会となりました。

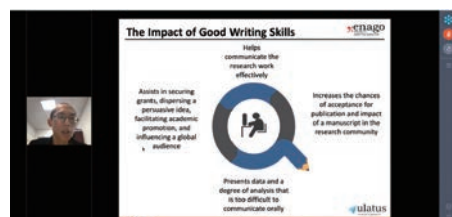


ご報告

第2回スキルアップセミナー 「英語論文の書き方オンラインセミナー」を開催しました

令和3年9月27日(月)、山梨大学および山梨県立大学の教員・学生、シミックホールディングス株式会社および株式会社はくばくの社員を対象としたスキルアップセミナー「英語論文の書き方オンラインセミナー」を開催しました。英文校正エナゴの協力を得て、増田 直紀 氏(米国ニューヨーク州立大学准教授)を講師として招聘し、「論文執筆時に英語の壁を乗り越えるには?」と題してご教授いただきました。

このセミナーには、158名(セミナー後の視聴も含む)が参加しました。参加者からは、「日本語と英語での微妙な違いや日本語も英語もわかる先生だからこそそのポイントをより詳しくご講義いただけだったので、毎日英語に触れてみようと思いました。」「日常的に英語で書いて英語で考える癖をつけることの大切さについて再確認でき、英語論文は、日本語で執筆した論文の翻訳ではいけないということを改めて考えさせられました。」などの感想をいただきました。



お知らせ

山梨大学男女共同参画学術研究奨励賞表彰式を開催しました

令和3年11月16日(火)、甲府キャンパス大村智記念学術館にて、第6回山梨大学男女共同参画学術研究奨励賞表彰式を開催しました。

この賞は、優れた研究成果を挙げた本学の女性研究者を顕彰することにより、研究者の研究意欲を高め、将来の学術研究を担う優秀な女性研究者の育成及び男女共同参画を促進する目的で創設されました。

今年度の受賞者は下記のとおりです。

| | 所属 | 氏名 | 研究テーマ |
|-----|-------------------------------------------|---------------------|--------------------------------------------------|
| 奨励賞 | 大学院医工農学総合教育部 (4年博士課程) 医学専攻 | 小林 恵 (こばやし けい) | 関節超音波による関節炎の鑑別方法の開発 |
| | 大学院医工農学総合教育部(3年博士課程) 統合応用生命科学専攻生命農学コース | 石山 詩織 (いしやま しおり) | 胚環境操作による日本人型糖尿病動物モデルにおける大麦の代謝性疾患の抑制機構 |
| | 大学院医工農学総合教育部(修士課程) 生命環境学専攻食物・ワイン科学コース | 森山 綾音 (もりやま あやね) | トレハロース代謝系とサイトカニン分解系のクロストークが関与するブドウの果粒数決定メカニズムの解明 |

育休取得者にインタビュー

第3弾! —シミックホールディングス株式会社編—

本News Letterでは、今年度4回にわたり男性育休取得者にインタビューを行います。今回は、シミックホールディングス株式会社にて育休取得した男性職員にインタビューを行いました。

氏名: 鷲尾 亮太
所属: シミック株式会社/臨床事業第二本部4部



Q. 育児休暇を取得した期間を教えてください

A. 令和3年2月16日～令和3年3月26日に取得しました。

Q. 育児休暇を取得しようと思ったきっかけを教えてください

A. 妊娠がわかり、安定期に入るまでに妻と話し合いをして取得を決めました。特定のきっかけはありませんが、第一子だったこともあり、妻一人で育児をしていく大変さは容易に想像できましたので、育児休暇を取らないという選択肢はあまり検討しませんでした。

Q. 育児休暇の取得について誰かに相談をしましたか

A. 取得の判断については、私を含めた家族で決めました。取得するにあたり、育児休暇取得経験のある先輩社員に経験をお伺いしました。楽しさも大変さもお伺いしましたが、経験をお伺いしたことで、改めて育児休暇は取るべきだなという思いになりました。

Q. 周りの反応はどうでしたか

A. 皆さん、すぐにおめでとうと言ってくれました。同時に育児休暇も取得するつもりである旨を伝えたところ、仕事のご心配しないで家族の時間を大事にしてくださいとお言葉をいただきました。

Q. 職場は育児休暇を取得しやすい雰囲気でしたか

A. いわゆる、「男性なのに育児休暇を取るの?」といった質問や空気は一切なく、周りからのプレッシャーは一切感じませんでした。

Q. 育児休暇中の過ごし方について教えてください

A. 基本的には寝かしつけ→ミルクを作る・あげる→寝かしつけの繰り返しでしたが、家事は料理と掃除を中心に家事を担当していました。料理と掃除は個人的に好きな家事だったこともあり、料理ではこれまで時間がなくチャレンジできなかった料理を作ってみたり、料理をする時間がなかった時のために、作り置きのおかずを作ったりしていました。掃除では、窓や網戸、換気扇の掃除など、普段の生活では気軽に掃除できない箇所を中心に、可能な限り綺麗な空間で妻と子供に過ごしてもらえるよう毎日何かしらの掃除をしていました。

Q. 育児休暇を取得して良かった点があれば教えてください

A. 子供がいる生活(リズム)に慣れることができたのが良い点です。ミルクを作ったり、オムツを交換する作業は数回やればすぐに慣れると思いますが、これまで夫婦と猫1匹で自由に暮らしてきたので、子供中心の生活に慣れるには少し時間が掛かりました。これが、短期間の育児休暇(または有給休暇)だったら、生活リズムに慣れることができずに体調を崩したり、仕事にも影響していたと思います。子供が生まれた後は、何をしても子供中心に考え行動する必要があったため、2ヶ月で身体的にも精神的にもそのリズムに移行することでできました。

Q. 育児休暇を取得して悪かった点、困った事があれば教えてください

A. 強いて言えば収入が減ることでしょうか。ただ、妊娠がわかり育児休暇の取得を決めた時から、少し余分に貯金をするようにしていたため、思っていたほど家計にダメージはなかったと記憶しています。

Q. 復職はスムーズに行えましたか

A. 育児休暇取得前に、復帰後仕事と内容について上長と相談していたことから、復帰後もスムーズに仕事に戻ることができました。

Q. 今後育児休暇を取得される方にアドバイスなどがあれば教えてください

A. 休暇中は、子供の一生に一度の瞬間に立ち会える貴重な期間でもありますので、是非積極的に取得を検討してみてください。ただし、周りの理解・協力は不可欠になりますので、取得を決めた際は、ご自身の業務の状況やご家庭の状況を考慮して、休暇取得前後のプランを相談・決定することをお勧め致します。

山梨大学 地域人材養成センター／男女共同参画推進室

〒400-8510 甲府市武田4-4-37 TEL: 055-220-8350 FAX: 055-220-8351 E-mail: danjo@yamanashi.ac.jp
HP: <https://diver-danjo.yamanashi.ac.jp/>